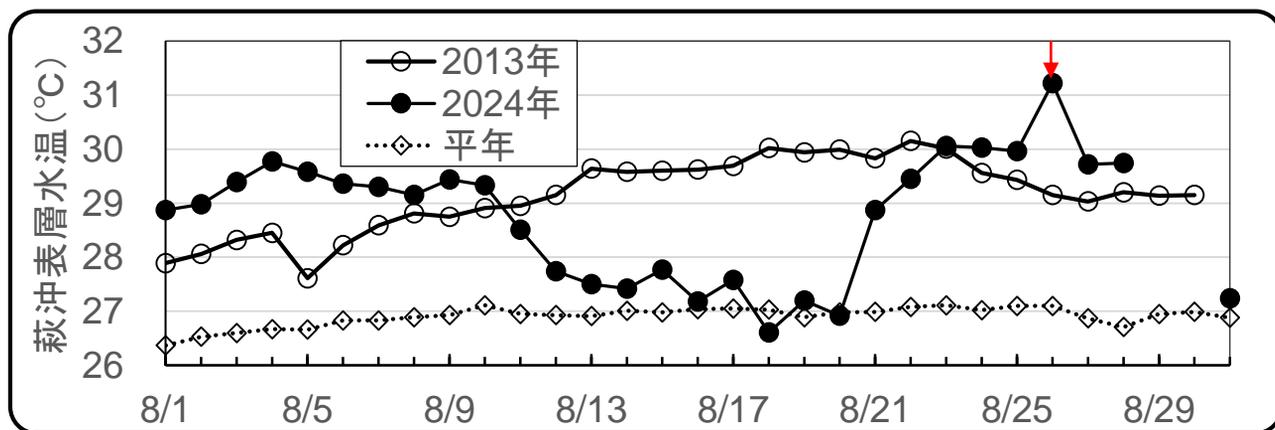


8月26日に萩市沖表層で観測史上最高水温を記録しました！

萩市本土と見島を結ぶ定期船（現：ゆりや）の観測による萩市北北西15海里地点における表層水温は、2024年8月26日に31.22℃を記録し、1964年以降の観測史上最高水温となりました。これまでの最高水温は2013年8月22日の30.15℃で、31℃を超えたのは初めてのことです。また、旬別平均表層水温も高い値を示し、8月上旬（29.32℃）に続き、8月下旬（29.59℃）も観測史上最高となりました。さらに、8月1ヶ月の平均表層水温は28.75℃で、観測史上2番目の高水温でした（過去最高水温は2013年8月の29.15℃）。

8月の高水温の原因は、日本付近が背の高い暖かい高気圧に覆われ、強い日射が続いたことなどの気象条件が影響した可能性が考えられます。

8月中旬から下旬にかけて19日間連続して29℃以上の高水温を記録した2013年には、かじめ類が高水温により枯死し、流出する現象が本県日本海沿岸で広範囲に発生したことから、今夏も高水温によるかじめ類の枯死が心配されました。しかし、本年は8月11日から21日にかけて一時的に水温が29℃以下に低下したためか、かじめ類が枯死・流出する現象は今のところ確認されていません。また、2013年8月には一部海域でメバル属魚類やアカウニの斃死も確認されましたが、本年は魚類やウニ類の斃死は見られませんでした。



8月の萩沖表層水温 (°C)

	上旬	中旬	下旬	8月平均
2024年	29.32	27.44	29.59	28.75
平年	26.71	26.99	26.96	26.90
2013年	28.36	29.62	29.47	29.15

* 平年は1991～2020年の平均値、赤字は観測史上最高水温を示す。